

豹柄あれこれ

塚田 實

十月上旬久しぶりに蛇崩川^{じやくずれがわ}緑道を散歩した。長い間緑道の改修工事をしていたが、改修も終わり涼しくなってきたので様子を見がてら歩いた。この緑道には思い出がある。二〇〇七年一月大腸がんの手術前に、体力を付けるため何度も妻と二人で緑道を歩き、駒留八幡神社で手術の成功を祈った。

蛇崩川は世田谷区^{しよせ}弦巻^{しんまき}から区内を流れ、最後は目黒川に合流する小さな川だった。区は治水整備計画の一環で、川を暗渠にして緑道を作った。改修後の緑道は前の緑道の一・五倍か二倍ほどに広がり、舗装された道にも様々な石の模様が施され、大きな樹木の周りには半円形に縁石が設けられた。緑道は新しいベンチも置かれて快適な散歩道になった。

歩いているとチョウチョが飛んできた。珍しいチョウチョだったのでグーグルレンズで調べると「ツマグロヒヨウモン」と出てきた。

駒留八幡神社でお参りを済ませ、また同じ道に戻った。お婆さんが緑道脇の草むらを見詰めている。近づいてみると約三十センチメートルの亀が草を食べていた。「これはヒヨウモンリクガメよ」。確かに丸い背中が豹紋をしていて美しい。約一時間の散歩で豹紋所縁の生物に二回も会うとは珍しい。

話は飛ぶが、豹紋と言えば「大阪のオバちゃん」を思い出す。大阪にはいつもあめ玉を持って、豹柄の派手な服装を好んで着る女性が他の地域と比べて多いと言われている。豹柄は阪神タイガースの虎のイメージに繋がる。関西では熱烈な阪神タイガースファンが多い。いつもハラハラドキドキさせながらリーグ優勝さえ逃していたのに、今年はぶっちぎりでリーグ優勝し、AREは、やはり言葉になった。クライマックスシリーズで勝てるだろうか、日本シリーズで勝てるだろうか、ファンのドキドキは続く。チームだけでは心配なので、ファンは甲子園球場を埋めて、「六甲おろし」の大合唱で声援を送る。

今年は何とか勝ち抜いて、チームとファンこそってツマグロヒヨウモンのように御堂筋を飛び跳ねてほしい。



ツマグロヒヨウモン



ヒヨウモンリクガメ